

第5回 地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会  
研究会参加報告書

林 晴信

## 第5回「地方議会における政策サイクルと評価モデル」研究会

2016年11月22日（火） 10:00~17:00

会場：コレド日本橋 5F

1. 「基礎的自治体の総合計画に関する実際調査」調査結果報告
2. ワークショップ「政策サイクルの展開」具体的事例  
私の班は川上文浩氏（可児市議会）と松崎新氏（会津若松市議会）と私の3名
3. ワークショップ報告と討議

### 別添資料

議会評価の枠組・総合計画に基づく長期政策サイクル・課題解決に向けた短期サイクル等

### ■所感■

いつも実り多い、＜別名＞江藤研究会（命名：清水克士氏）だが、今回は初めてのワークショップスタイルということで、より具体的な話ができたと感じる。私の班は可児市議会のキーマン川上文浩氏（前議長）と会津若松市議会のキーマン松崎新氏（議会運営委員長）という贅沢と言うか畏れ多いというか、豪華メンバーだった。

その前に日本生産性本部から報告のあった「基礎的自治体の総合計画に関する実態調査」だが、平成23年の地方自治法の改正以来、総合計画の義務付けは無くなっているが、以下の事実には多少の驚きがあった。

現在計画期間中の総合計画がある	98.3%
今後も総合計画を策定する予定である	91.1%
総合計画を策定する根拠がある	87.7%
うち	
議決すべき事件を定める条例	34.1%
自治基本条例	18.0%
総合計画条例	12.8%

議決事件にしていない自治体が約66%という事実は、総合計画の形骸化なのか。

西脇市では基本構想のみが「地方自治法第96条第2項の規定による西脇市議会において議決すべき事件を定める条例」で定められている。なお、西脇市自治基本条例第25条でも規定されている。

政策サイクル研究会では、政策サイクルの軸が総合計画にあるので、全国で総合計画が形骸化しているとすると、別の軸が必要となるな、とも思った。なお、川上氏によると可児市では基本構想だけを作ってまさに有名無実化しているともいう。

西脇市では基本構想は議決事項にあるものの、基本計画は議決事項ではないこともあってか、議会では完全に形骸化している。この4年間で委員会や一般質問で総合計画をベースに議論した者はほとんどいないといっている。それでいいのか、ということは議論すべきことであるとも思う。なお、会津若松市議会では総合計画策定の3年前から、現計画の検証に取り組み、その成果を持って新

しい計画審議に臨むという。総合計画というものを市の最上位計画に置くのなら、基本計画までの議決は必須であるし（市の最高意思決定機関は議会である）、会津若松市議会のように真剣に取り組む必要があるだろう。そうでないのなら、総合計画は単なる行政だけの計画に過ぎなくなる。一度真剣に考えてみたい。このことは長期政策サイクルとも密接に関わってくるからだ。

さて、2以降のワークショップであるが、決算を基軸に考えるというのは会津若松市議会も可児市議会も変わらない。9月の決算審査に臨む準備として6月から決算分科会（常任委員会単位）で、事業評価や行政評価等を行い、その成果で決算審査をするという手法である。その前の5月に議会報告会等で市民の意見をしっかり聞いておくことも同じである。可児市議会では8月にも「ママさん議会」によるワークショップで、地域に拘らない意見も聞いている。こうやって見てみると、西脇市議会も議会報告会の回数は多いが、多くは雑談と単なる地域要望会になりつつある点は改善が必要であると考ええる。雑談から市行政に対する問題点を炙り出すことも考えられるが、まだまだ多くの議員にその技術は無いと私は見ている（そもそも問題点を探そうとしているのかも疑問であるが←質問に答えるだけでイッパイイッパイ）。

要は決算審査で何をするかであるが、次の予算に反映させるべき問題点や改善点を議会なりに指摘することである。多くの指摘点を出し合い、附帯決議を行うのか（議会としての意思表示）、委員会指摘事項に集約させるのか（委員会としての意思表示）或いは認定しないのか、である。決算の不認定自体は全国的には珍しいことではない。国分寺市などは5年連続不認定である。ただ、現在は認定せずとも何ら処置は無いが、地方制度調査会では、決算不認定の場合の処置も現在は議論されているようである（専決不認定と同様になるか）。

話は逸れたが、9月決算審査は3月予算審査に反映させるための議論でなければならないし、3月予算審査は翌年9月決算審査での評価のポイントになるような議論をしなければならないのである。これをすることが短期の政策サイクルとなる。大仰に書いたが、西脇市議会基本条例の第10条の2に書いてある通りである。

#### 西脇市議会基本条例第10条2

議会は、前項の政策等を審議するに当たっては、立案及び執行における論点及び争点を明らかにするとともに、執行後における政策評価に資する審議に努めるものとする。

また松崎氏に「会津若松市では事業の評価をいつ頃執行部から提出してもらいますか？」と尋ねたら「10月です」という。10月なら決算審査終わってるやないの・・・と怪訝に思っていたら、何と！各担当課が予算要求時に使う事業評価資料をそのまま提出してもらって、執行部が判断するのと同レベルで予算を議論するというのである（確定版は6月でそれをベースに行政評価）つまり10月から予算審査（分科会で行う）は始まっているということである。素晴らしい取組みだと思う。

会津若松市議会では6月から9月まで決算審査（及び準備）を行い、10月から翌3月までは予算審査（及び準備）を行っているということになる。

トップレベルの議会審議のあり方とはこういうことだと改めて思った。

西脇市議会のレベルがこのレベルまで達するのはいつの日になることだろうか・・・現状を鑑みると暗澹たる気持ちにならぬでもないが、しかし、一步を踏み出さずば何も変わらないとの思いで、進めていきたい。

2. 住民協同（共同？協働？共働？参画？参加？・・・）

- ・住民からの声を集める仕組み
- ・議会としての情報収集の仕組み
- ・主権者教育／市民教育など

政策過程

議会運営

3. 政策サイクルの展開

3-1. 総合計画に基づく長期政策サイクル

- ・総合計画と連動した政策サイクルの仕組み
- ・通任期（4年間）と連動した政策サイクルの仕組み

3-2. 課題解決に向けた短期政策サイクル

- ・課題解決に向けた政策サイクルの仕組み

4. 議会と議事事務局の能力向上

- 議会改革
  - ・制度設計と改革度
  - 議員の活動実態
    - ・議員の能力向上（会派、個人）
    - ・コンプライアンス
- 議事事務局の能力向上
- 議事事務局の目標と改革度

5. 成果

- 【個別項目の達成状況】（制度設計）
  - ・「1. 理念／方針」
  - ・「2. 住民協同」
  - ・「3. 政策サイクルの展開」
  - ・「4. 議会と議事事務局の能力向上」

- 【全体／アウトプット】（議会活動・運営）
  - ・政策への反映
  - ・施策事業の実現
  - ・条例の制定 など

- 【全体／アウトカム】
  - ・住民福祉の向上
  - （住民納得度・幸福度）

## 議会のプロフィール

### 1. 議会が目指す「理想的な姿」

- ・議会として実現したいと考えている状態を明確化（具体的な目標、達成時期の明示など）

### 2. 現状認識と環境変化

- ・理想的な姿を実現するために課題を設定し、方向性を明らかにします。
- ・現状の認識とともに、将来の環境変化についても考慮します。

### 3. 議会改革の認識

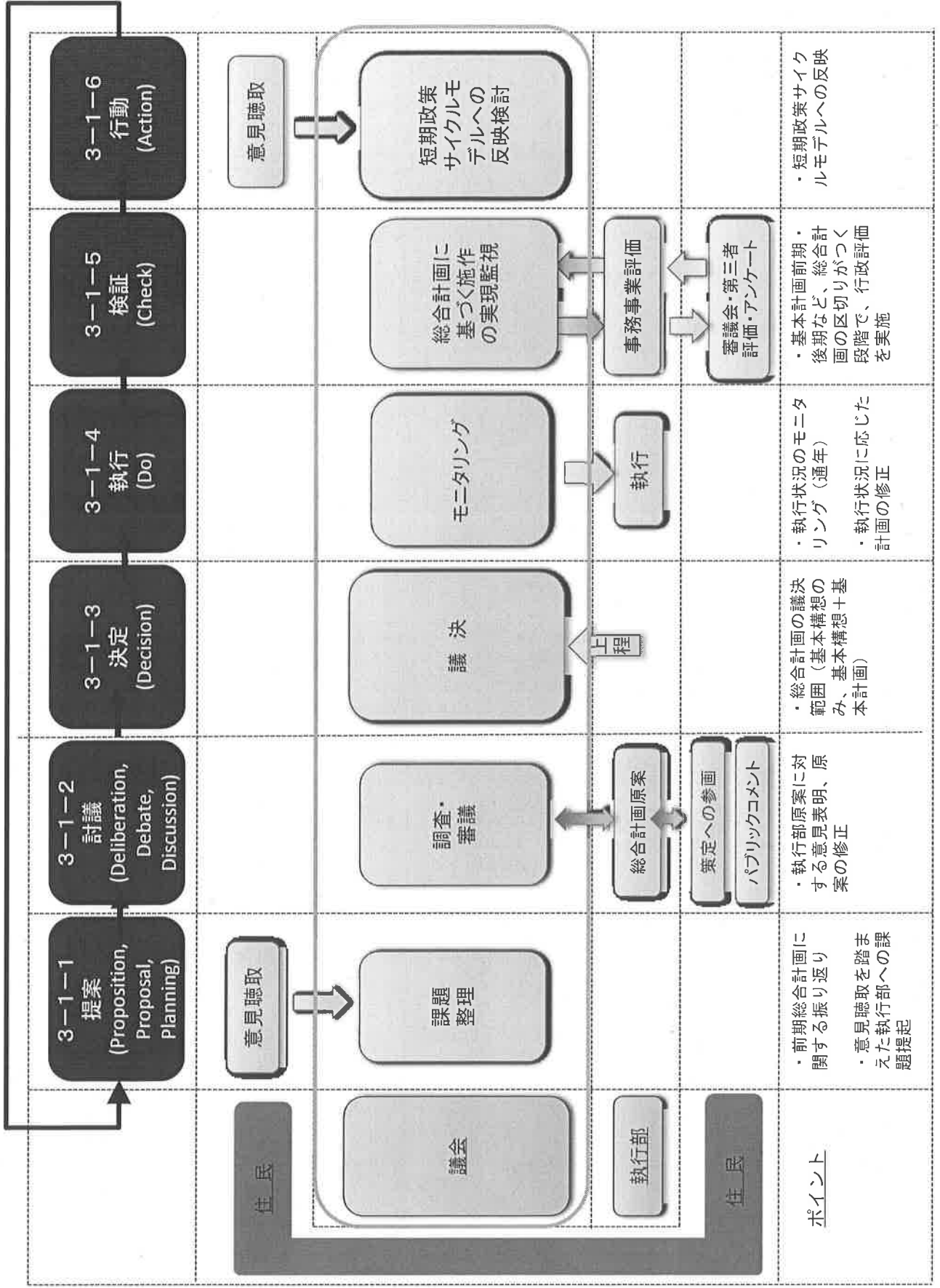
- ・議会が目指す理想的な姿に照らして、現状と今後予想される変化から理想の姿の実現に近づくための議会改革の課題を明確化します。

### 4. 議会の情報

- ・政策サイクルをまわす源泉となる議会資源、議員数や党派、議会事務局の状況等

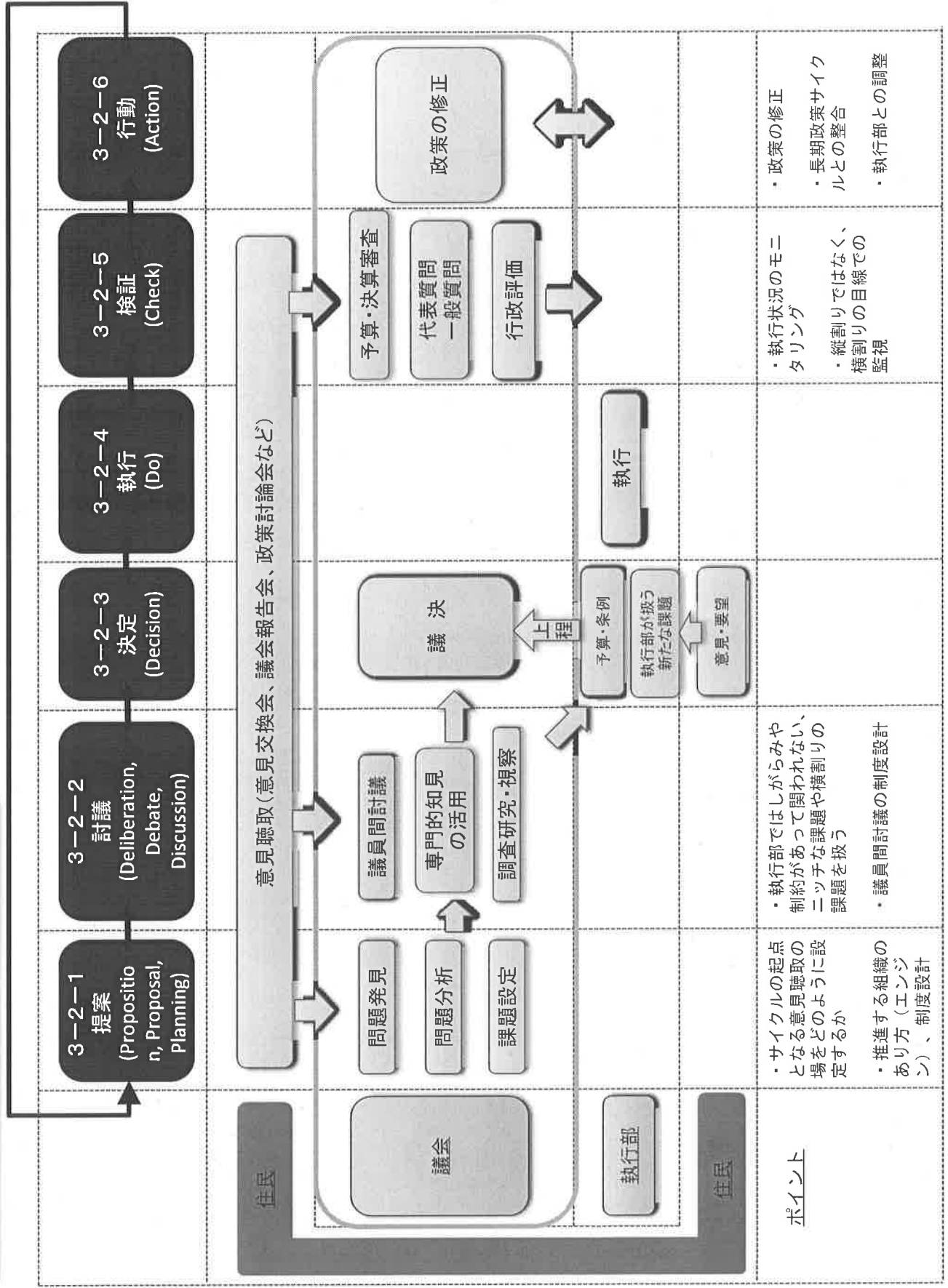
サイクルの単位イメージ：4年程度（通任期）

3-1. 総合計画に基づく長期政策サイクル



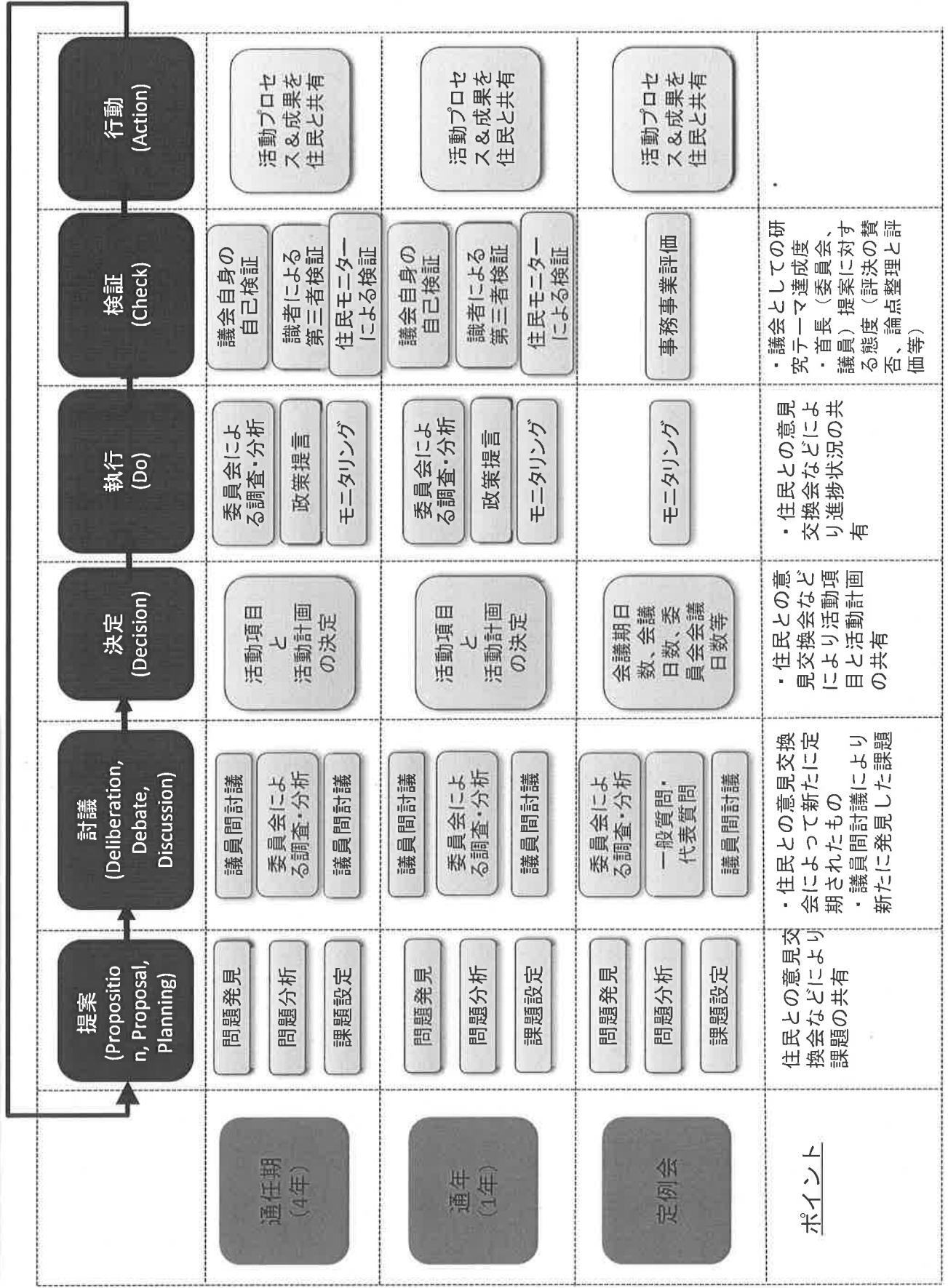
### 3-2. 課題解決に向けた短期政策サイクル

サイクルの単位イメージ：1年程度（通年）



参考： 時期区分にわけた政策サイクル(検討途中)

※議会が政策立案する場合のサイクル





参考：要素区分にわけた政策サイクル（検討途中）

提案 (Proposition, Proposal, Planning)	討議 (Deliberation, Debate, Discussion)	決定 (Decision)	執行 (Do)	検証 (Check)	行動 (Action)
<p>条例 (執行部提案)</p>	<p>調査・分析 議員間討議</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>成果の検証 見直し検討</p>	<p>住民との共有</p>
<p>条例 (議会提案)</p>	<p>課題整理 先進事例調査 条例立案 調査・分析 議員間討議</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>成果の検証 見直し検討</p>	<p>住民との共有</p>
<p>決算</p>	<p>アウトカムの確認 と 課題の抽出</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>次年度予算 編成への反 映を確認</p>	<p>住民との共有</p>
<p>予算</p>	<p>調査・分析 住民意見集約</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>進捗確認</p>	<p>住民との共有</p>
<p>決議・意見書・ 報告書</p>	<p>提案者と意見交換 議員間討議</p>	<p>委員会審議 議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>進捗確認</p>	<p>住民との共有</p>
<p>一般質問・ 代表者質問</p>					
<p>ポイント</p>					